



## 日本におけるヒレナガハタの分布記録の再検討

中村潤平<sup>1</sup>・本村浩之<sup>2</sup>

### Author & Article Info

<sup>1</sup> いおワールドかごしま水族館（鹿児島市）  
j-nakamura@ioworld.jp (corresponding author)  
<sup>2</sup> 鹿児島大学総合研究博物館（鹿児島市）  
motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp

Received 27 August 2025  
Revised 27 August 2025  
Accepted 27 August 2025  
Published 28 August 2025  
DOI 10.34583/ichthy.58.0\_72

Jumpei Nakamura and Hiroyuki Motomura. 2025. Re-assessment of the distribution record of *Epinephelus irroratus* (Epinephelidae) in Japan. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 58: 72–75.

### Abstract

Although the Marquesan Grouper *Epinephelus irroratus* (Forster, 1801) (Epinephelidae) is considered as an endemic to the Marquesas Islands in French Polynesia, a single specimen was reported from Minami-tori-shima island (Marcus Island) in the Ogasawara Islands, Japan. In this study, we confirmed that the Minami-tori-shima specimen was most likely to be collected from the Marquesas Islands, and no reliable records of the species are known from Japanese waters.

ハタ科アカハタ属 (Epinephelidae: *Epinephelus*) のヒレナガハタ *Epinephelus irroratus* (Forster, 1801) は、沿岸浅海域に生息する中型種で、フランス領ポリネシアのマルキーズ諸島（マルケサス諸島）では多くの個体が生息しており漁業対象種となっている (Heemstra and Randall, 1993; Cornish and Situ, 2011)。本種はマルキーズ諸島の固有種とされているが (Delrieu-Trottin et al., 2015)、小笠原諸島の南鳥島産の1標本 (Fig. 1) が知られており (Bryan and Herre, 1903; Zama, 1978; Randall and Heemstra, 1991)、これまで国内においては日本産魚類として扱われていた (Zama, 1978; 瀬能, 1993, 2000, 2013)。しかし、南鳥島産とされているヒレナガハタの標本は、実際にはマルキーズ諸島産である可能性が極めて高いことが明らかになっており (Randall and Randall, 2001)、この標本以外の日本からの本種の記録がないことや、マルキーズ諸島と日本の間の海域からも本種が記録されていないことから、ヒレナガハ

タは日本産種として扱うべきではない。本稿では南鳥島産とされるヒレナガハタ標本の概要と国内で本種が日本産種として扱われてきた経緯を報告する。

### 材料と方法

標準体長は体長または SL と表記した。本報告に用いた以下の標本はビショップ博物館 (BPBM) とフランス国立自然史博物館 (MNHN) に所蔵されている — ヒレナガハタ *E. irroratus*: BPBM 2418, 体長 156.8 mm, Marcus Island (南鳥島; ただし、実際にはマルキーズ諸島産の可能性が高い)、1902年8月, W. A. Bryan 採集 (A. Seale が 1900–1903年に採集した可能性が高い); MNHN-IC-0000-7438, 体長 171.5 mm, 産地不明 (*Perca irrorata* のホロタイプであれば、産地はマルキーズ諸島タフアタ), P. M. A. Broussonet 寄贈 (1769年に J. Banks によって採集され、Broussonet に渡された可能性が高い)。

### 結果と考察

*Epinephelus irroratus* は Forster in Bloch and Schneider (1801) により *Percam irroratum* (= *Perca irrorata*; タイプ産地: マルキーズ諸島タフアタ) として記載された (Randall and Heemstra, 1991)。 *Perca irrorata* のタイプ標本の詳細は不明であるが、MNHN-IC-0000-7438 (Fig. 2) が本名義種のホロタイプである可能性が高いと考えられている (Randall and Wheeler, 1991; Randall and Heemstra, 1991)。MNHN-IC-0000-7438 の詳細情報は不明であるが、本標本は Pierre Marie Auguste Broussonet コレクションの一部で Joseph Banks により入手されたものであるため (Bauchot, 1969)、ヒレナガハタの分布域から鑑みると、James Cook の第1回航海 (1768年から1771年にかけてのエンデバー号による航海) に乗船した Banks が 1769年にタヒチなど現在のフランス領ポリネシア近辺に帰港した際に入手した標本である可能性が高い。なお、その後、Günther (1859) により記載された *Serranus spiniger* (タイプ産地不明) と Boulenger (1895) により記載された *Epinephelus albopunctulatus* (タイプ産地: マルキーズ諸島ヌク・ヒバ) の2名義種は *E.*



Fig. 1. Preserved specimen (BPBM 2418, 156.8 mm SL) of *Epinephelus irroratus*. This specimen was previously considered to be collected by W. A. Bryan from Minami-tori-shima island, Japan in 1902. However, it is more likely to be collected by A. Seale from the Marquesas Islands between 1900 and 1903.



Fig. 2. Preserved specimen (MNHN-IC-0000-7438, 171.5 mm SL) of *Epinephelus irroratus*. This specimen is the probable holotype of *Perca irrorata* that was collected by J. Banks from the Marquesas Islands in 1769 during the Captain James Cook's first great voyage (1768–1771).

*irroratus* の新参異名とされている (Randall and Heemstra, 1991).

Bryan and Herre (1903) は南鳥島の魚類目録において、ビショップ博物館に所蔵されている 1 標本 (BPBM 2418: Fig. 1) を *Epinephelus spiniger* として報告した。Zama (1978) は *E. spiniger* と *E. albopunctulatus* の異名関係を検討した論文において、Bryan and Herre (1903) の南鳥島産標本を根拠に本種が日本に分布することを示し、*E. spiniger* に対して和名ヒレナガハタを提唱した。Randall and Heemstra (1991) はインド・太平洋におけるハタ亜科魚類の分類学的再検討において、1 標本 (BPBM 2418) のヒレナガハタが南鳥島から得られていることを示したが、1968 年に南鳥島で

2 週間実施された魚類調査において本種は確認されず、マルキーズ諸島では比較的普通種であるものの同諸島以外から記録されていないことから、南鳥島産標本の産地は間違いである可能性が高い旨を記した。瀬能 (1993, 2000) はヒレナガハタを日本産種として扱い、本種の国内における分布域を南鳥島とした。Randall and Randall (2001) は中央太平洋におけるユゴイ科ユゴイ属魚類 *Kuhlia* の分類学的再検討において、フランス領ポリネシアのソシエテ諸島固有の淡水性魚類である *Kuhlia malo* (Valenciennes, 1831) が Bryan and Herre (1903) により南鳥島から記録されているが、南鳥島には地表淡水環境がなく *K. malo* の唯一の産地であるソシエテ諸島から遠く離れていることからこの



Fig. 3. Anterior dorsal-fin spines of *Epinephelus irroratus* (BPBM 2418, 156.8 mm SL).

記録は誤りであることを指摘した。加えて、Randall and Randall (2001) は Bryan and Herre (1903) が南鳥島から記録したヒレナガハタも *K. malo* と同様に産地は誤りであることを指摘し、その理由として 1900–1903 年にソシエテ諸島やマルキーズ諸島を含む南太平洋で Alvin Seale が採集した標本はビショップ博物館に所蔵されており、それと同時期に南鳥島において採集された Wm. Alanson Bryan のコレクションもビショップ博物館に所蔵されているため、上記 2 種は誤って Bryan and Herre (1903) によって南鳥島から記録されたと考えられる見解を示した。なお、Bryan and Herre (1903) により南鳥島から記録された魚類の中で産地が間違いであると判明している標本は、Randall and Randall (2001) において示された BPBM 2417 (*K. malo*) と BPBM 2418 (ヒレナガハタ) の連番となっている 2 標本のみである (斉藤洪成氏, 私信)。瀬能 (2013) はヒレナガハタを日本産種として扱い、国内における分布域は疑問符を付けて南鳥島としたが、Randall and Heemstra (1991) が本種の南鳥島の記録は間違いであると考えている旨を記した。中村・本村 (2022) は本種を日本産アカハタ属魚類に含めた。なお、これまで国内において本種を日本産ハタ科魚類と扱った出版物において Randall and Randall (2001) の南鳥島産標本に関する見解は引用されていないが、これは Randall and Randall (2001) がユゴイ科魚類を扱った文献であるため見過ごされていたものと考えられる。

上記の経緯に加えて、*E. irroratus* は記載されてから 200 年以上経った現在においてもマルキーズ諸島以外からの確実な記録は知られていない。そのため、本種はマルキーズ諸島の固有種で、南鳥島からの本種の記録は標本 (BPBM 2418) の産地の誤りによるものであり、日本産魚類として扱うべきではないと考えられる。ただし、本種はマルキーズ諸島以外からは 1958 年にマルキーズ諸島からハワイ諸島オアフに導入されたが定着しなかった記録とインドからの不確かな記録が知られている (Mundy, 2005; Akhilesh et al., 2021)。後者はインドの海洋生物の種同定トレーニングマニュアル内の「Field identification of snappers

and groupers」(Nair, 2017) を引用した記録であるが、検索表に種名と形質が示されているのみであり、Akhilesh et al. (2021) が備考に「Questionable」と記しているようにインドにおける本種の記録は根拠がなく不明である。なお、ヒレナガハタは成魚においても背鰭第 2 棘が著しく伸長し (Fig. 3)、頭長は第 2 背鰭の 1.85–2.4 倍であることが識別的標徴とされているが (Randall and Heemstra, 1991)、他のハタ科アカハタ属魚類においても仔稚魚期には背鰭第 2 棘が伸長する (Baldwin and Johnson, 1993; 岡本, 2014)。そのため、同属他種の仔稚魚や幼魚がヒレナガハタと誤同定されることもあり (Zama, 1978; 本研究)、種同定の際には注意が必要である。

## 謝 辞

本研究に際して、ビショップ博物館の Lori O'Hara 氏、フランス国立自然史博物館の Zouthaira Gabsi 氏と Jonathan Pfliger 氏、鹿児島大学大学院連合農学研究科の橋本慎太郎氏には標本調査にご協力いただき、神奈川県立生命の星・地球博物館の斉藤洪成氏には文献の提供と有益な助言をしていただいたため、深く感謝申し上げます。本研究は鹿児島大学総合研究博物館の「鹿児島・琉球列島の魚類多様性調査プロジェクト」の一環としておこなわれた。本研究の一部は公益財団法人藤原ナチュラルヒストリー振興財団 2024 年度 (第 33 回) 学術研究助成、公益財団法人日本海事科学振興財団「海の学びミュージアムサポート」、JSPS 科 研 費 (20H03311・21H03651・23K20304・24K02087)、JSPS 研究拠点形成事業—B アジア・アフリカ学術基盤形成型 (CREPSUM JPJSCCB20200009)、文部科学省機能強化費「世界自然遺産候補地・奄美群島におけるグローバル教育研究拠点形成」、および鹿児島大学のミッション実現戦略分事業 (奄美群島を中心とした「生物と文化の多様性保全」と「地方創生」の革新的融合モデル) の援助を受けた。

## 引用文献

- Akhilesh, K. V., P. T. Rajan, N. Vineesh, K. K. Idreesbabu, K. K. Bineesh, M. Muktha, C. Anulekshmi, H. Manjebayakath, Y. Gladston and M. Nashad. 2021. Checklist of serranid and epinephelid fishes (Perciformes: Serranidae & Epinephelidae) of India. *Journal of the Ocean Science Foundation*, 38: 35–65.
- Baldwin, C. C. and G. D. Johnson. 1993. Phylogeny of the Epinephelinae (Teleostei: Serranidae). *Bulletin of Marine Science*, 52: 240–283.
- Bauchot, M.-L. 1969. Les poissons de la collection de Broussonnet au Muséum National d'Histoire Naturelle de Paris. *Bulletin du Muséum National d'Histoire Naturelle*, 41: 125–143.
- Bloch, M. E. and J. G. Schneider. 1801. *Systema ichthyologiae iconibus ex illustratum. Post obitum auctoris opus inchoatum absolvit, correctit, interpolavit J. G. Schneider, Saxo. Sumtibus Auctoris Impressum et Bibliopolio Sanderiano Commisum*, Berlin. lx + 584 pp., 110 pls.
- Boulenger, G. A. 1895. *Catalogue of the perciform fishes in the British Museum. Second edition. Vol. I. British Museum, London*. xix + 394 pp., 15 pls.
- Bryan, W. A. and A. W. Herre. 1903. Annotated list of the Marcus Island fishes. *Occasional Papers of Bernice P. Bishop Museum*, 2: 126–139.

- Cornish, A. S. and Y.-Y. Situ. 2011. *Epinephelus irroratus* (Forster 1801), pp. 160–161. In Craig, M. T., Y. J. Sadovy de Mitcheson and P. C. Heemstra. (eds.) Groupers of the world. A field and market guide. NISC, Grahamstown.
- Delrieu-Trottin, E., J. T. Williams, P. Bacchet, M. Kulbicki, J. Mourier, R. Galzin, T. Lison de Loma, G. Mou-Tham, G. Siu and S. Planes. 2015. Shore fishes of the Marquesas Islands, an updated checklist with new records and new percentage of endemic species. *Check List*, 11: 1758.
- Günther, A. 1859. Catalogue of the acanthopterygian fishes in the collection of the British Museum. Vol. 1. Gasterosteidae, Berycidae, Percidae, Aphredoderidae, Pristipomatidae, Mullidae, Sparidae. British Museum, London. xxxi + 524 pp.
- Heemstra, P. C. and J. E. Randall. 1993. FAO species catalogue. Vol. 16. Groupers of the world (family Serranidae, subfamily Epinephelinae). An annotated and illustrated catalogue of the grouper, rockcod, hind, coral grouper, and lyretail species known to date. FAO, Rome. viii + 382 pp. + xxxi pls.
- Mundy, B. C. 2005. Checklist of the fishes of the Hawaiian Archipelago. *Bishop Museum Bulletins in Zoology*, 6: 1–703.
- Nair, R. J. 2017. Field identification of groupers and snappers, pp. 60–87. In Mini, K. G., K. Somy, B. Vivekanand, V. K. Manu, P. Sijo and K. A. Sindhu (eds.) Training manual on species identification. Central Marine Fisheries Research Institute, Kerala.
- 中村潤平・本村浩之. 2022. ハタ科 Serranidae とされていた日本産各種の帰属, および高次分類群に適用する標準和名の検討. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 19: 26–43.
- 岡本 誠. 2014. ハタ科 Serranidae, pp. 676–678. 沖山宗雄 (編) 日本産稚魚図鑑. 第2版. 東海大学出版会, 秦野.
- Randall, J. E. and P. C. Heemstra. 1991. Revision of Indo-Pacific groupers (Perciformes: Serranidae: Epinephelinae), with descriptions of five new species. *Indo-Pacific Fishes*, 20: 1–322.
- Randall, J. E. and H. A. Randall. 2001. Review of the fishes of the genus *Kuhlia* (Perciformes: Kuhliidae) of the Central Pacific. *Pacific Science*, 55: 227–256.
- Randall, J. E. and A. Wheeler. 1991. Reidentification of seven tropical Pacific fishes collected and observed by the Forsters during the voyage of HMS Resolution, 1772–75. *Copeia*, 1991: 760–767.
- 瀬能 宏. 1993. ハタ科, pp. 601–632, 1306–1312. 中坊徹次 (編) 日本産魚類検索 全種の同定. 東海大学出版会, 東京.
- 瀬能 宏. 2000. ハタ科, pp. 690–731, 1539–1547. 中坊徹次 (編) 日本産魚類検索 全種の同定. 第2版. 東海大学出版会, 東京.
- 瀬能 宏. 2013. ハタ科, pp. 752–802, 1960–1971. 中坊徹次 (編) 日本産魚類検索 全種の同定. 第3版. 東海大学出版会, 秦野.
- Zama, A. 1978. A grouper *Epinephelus albopunctulatus*, a synonym of *E. spiniger*, distinct from *E. truncatus*. *Japanese Journal of Ichthyology*, 25: 219–222.